

# 第2学年 図画工作科學習指導案

2組 男子 18名 女子 17名 計 35名  
指導者 奥俊明

## 1 題材 どんどんできるよ

### 2 題材について

#### (1) 題材の位置とねらい

本題材は、石を並べたり、新聞紙などを切ってつなげたりする活動から、できたものを何かに見立て、活動する場を生かしながら全身を使って活動していく造形遊びの題材である。

この期の子どもたちは、活動を通して思い付いたことをすぐ表現に生かしたり、手や体全体で材料とかかわったりして楽しむ様子が見られる。また、目の前の形や色などから自分のイメージをもち、好きな形や色を選んだり、何かに見立てたりして、思ったことや感じたことを言葉に発しながら取り組む様子も見られる。

そこで、石を並べたり、細く切った新聞紙などをつなげたりして何かに見立て、つくりたいものを作ることは、形からイメージをもつことができ、自分なりにつくりだしていく喜びを味わうことができる。また、紙の形や並べるもの、活動する場所を基に、上下左右等の様々な並べ方やつなぎ方を試みてつくりたいものをつくることで、つくりだす力を伸ばしていくことができる。そして、並べたり、つないだりしてできた形のよさや試みたいことについて友だちと話し合いながらつくることで、互いの発想や作品のよさを味わい、感じ取る力を伸ばしていくことができる。さらに、並べるものや並べ方、切り方やつなぎ方によって様々な形ができること、また、セロハンテープなどの用具を適切に使うことで知識・理解、技能を高めていくことができる。

このように、見るポイントを基に、つなげたものを何かに見立て、活動していく題材は、3年生の題材「布の変身」で布を変形させてできた形から発想する題材へと発展していく。

#### (2) 指導の基本的な立場

本題材で扱う石や新聞紙などの、並べたり、つなげたりするものは、手や体全体で直接触れることができ、加工しやすく子どもにとって操作性がよいのが特徴である。そのため、思い付いたことをすぐに、並べたり、切ってつなげたりする活動に結び付け、容易に形を変えることができる。また、並べ方やつなぎ方を工夫することで、上下左右等様々な方向につなげることができる。このような材料のよさを生かすることで、子どもたちは並べたり、つなげたりして何かに見立てる活動をしていくことに意欲的に取り組むことができると考える。

具体的にはまず、並べることや切ってつなげることのおもしろさに気付かせるために、石や新聞紙を使ってどんな活動ができそうかを教師の複数の活動を見比べて考えさせ、できた形から感じしたことなどを話し合わせる。そして、活動を通して、どのような形をつくるかを考えさせる。

次に、友だちと互いの表現のよさを感じ、さらには自分の表現に生かせるようにするために、材料や机、台を教室の様々な場所に置き、自然と、友だちとグループをつくりやすい環境を設定し、話し合いながらつくらせる。また、友だちの表現のよさに気付いた子どもには、見るポイントを基に、友だちの表現のよさについて、話をさせ全体に広める。

最後に、工夫して活動し続けることができるようにするために、並べ方やつなぎ方を考えたり、友だちと協力し合って取り組んだりしている子どもを称賛し、粘り強く取り組ませる。そして、自分たちが並べたり、切ってつないだりしてできた形のおもしろさを感じることができるようにするために、自分たちの作品を鑑賞し、互いの表現のよさに気付かせる。

このような学習を通して、子どもたちは、並べたり、切ってつなげたりして、様々な形を思い付く（計画性の向上）、できた形を基にさらに工夫を加えたり（責任感の高揚）、友だちと活動したり（協調性の向上）して、自分の表現のよさを感じ（自己肯定感の醸成）、造形活動に意欲的に取り組むことができると考える。

### (3) 子どもの実態

本学級の子どもたちは、これまでの学習を通して、図画工作科に対して（※1）は意欲が高い。

しかし、「好きではない」と答えた子どもが1名おり、「材料の質感」を理由に挙げている。そこで、

実態調査 2年3組 35名 (4月中旬実施)			
1 図画工作への興味・関心について	※1		
好き（34名）	好きではない（1名）		
〈好きではない理由〉			
・ 粘土の手触りが気持ち悪い			
2 材料（紙）への興味・関心について	※2		
好き（28名）	いいえ（7名）		
〈好きではない理由〉			
・ やぶれやすい			
・ 使うのが難しい			
3 石や紙などをつなげていく発想について	※3		
・ まっすぐ	・ ななめ	・ まるく	
4 紙をつないで見立てることについて	※4		
・ へび	・ とり	・ ひこうき	
5 作品を見たり、話したりするよさについて	※5		
よさを感じている（19名）			
よさを感じていない（16名）			
〈よさを感じている理由〉			
・ 自分の作品に真似できる			
・ 新しいことを思い付く			
〈よさを感じていない理由〉			
・ みてもよく分かららない			
6 テープの使い方について	※6		
適切に使える（9名）	適切に使えない（26名）		

材料のよさを実感し、様々な視点で材料をとらえられるようにしていく。新聞紙やチラシなどの紙を使うことについて（※2）は、多くの子どもたちが、使うことに興味をもっている。一方で、新聞紙やチラシなどの紙に興味をもてない子どもも見られた。材質や操作性に、不自由を感じていることが考えられる。そこで、新聞紙やチラシなどの紙の特性を、今までの学びや生活経験と関連付けて考えられるようにし、新聞紙やチラシなどの紙の材料としてのよさに気付かせるようとする。石や新聞紙、チラシなどの紙をつなげていく発想について（※3）は、「まっすぐ」や「ななめ」など、様々なつなぎ方を考えることができていた。ただ、多くの子どもが、「まっすぐ」や「ななめ」に偏っていた。そこで、つなぐ場を工夫し、多種多様なつなぎ方を考えることができるようにしていく必要がある。新聞紙やチラシなどの紙をつなげて見立てることについて（※4）は、蛇や鳥、飛行機が多かった。形を直線的に見ている子どもが多いと考えられる。そこで、つなぎ方などに見るポイントをもてるようとする。鑑賞活動について（※5）は、16名の子どもが、よさを感じていない。他者の表現のよさを感じ、学び合い、イメージを膨らませていく経験が少ないと考えられる。そこで、各学習過程で他者と考えを伝え合う場を設定し、互いの表現のよさに気付かせるようとする。セロハンテープの使い方について（※6）は、26名の子どもが適切に使えない。つなぎ方や強度に応じて、使い分ける意識が低いことが原因だと考える。そこで、セロハンテープの使い方について、提示資料を用意したり実際に使用したりして、使い方を考えさせる。

### (4) 指導上の留意点

ア 「並べることによって感じられるおもしろさに気付かせるために、一つの石と並べられた複数の石とを見比べさせ、並べる活動のよさを感じさせる。さらに、切ってつなげることのおもしろさに気付かせるために（見通す）、切ってできた一枚の紙と複数の紙を見比べさせ、切ってつなぐ活動のよさも感じさせる。このように見比べることを通して（見通す）、並べたり、切ってつなげたりする活動に興味をもたせ、つくりながらつくりたいものを明らかにさせる。さらに、並べ方やつなぎ方を様々に思い付かせるために（多面、総合）、並べることや切ってつなぐことを連続して行うことで多様な形ができるように気付かせる。

イ 「思いを表現する」段階では、友だちの表現のよさを、自分の表現に生かすことができるようになるために（協力）、石や新聞紙などの材料を様々な場所に置き、グループの活動に取り組みやすいようにする。また、机や台など高低差のあるものを教室の様々な場所に置き、上下の並べ方やつなぎ方もできることに気付かせ、互いに考えを出し合わせながら活動させる。

ウ 「思いを味わう」段階では、粘り強く表現し続けさせるために、工夫して表現していることを「見るポイント」を基に称賛する。また、自分や友だちの表現のよさを味わえるようにするために（コミュニケーション）、空き箱などを自分に見立て、それを動かして活動させながら、並べたり、切ってつなげたりしてできた作品を鑑賞させる。さらに、並べたり、切ってつなげたりして活動してきたよさを感じ取らせるために（つながり）、ビデオカメラで子どもたちがつくった作品を「見るポイント」を基に紹介したり、最後まで粘り強く取り組んだことを称賛したりする。

### 3 目標

- (1) 石や新聞紙などを、並べたり、切ってつなげたりする楽しさに気付き、石や新聞紙などを、並べたり、つなげたりして、つないでできたものを何かに見立て進んで活動することができる。
- (2) ○ 石や新聞紙などを並べたり、つなげたりしてできた形を何かに見立て、石や新聞紙などをつなぐ方向やつなぎ方、つなぐ場を工夫しながら活動することができる。  
○ 並べたり、つなげたりしながら、できた形を基に、友だちと話したり、互いの活動のよさに気付いたりする。
- (3) セロハンテープなどを適切に使って、自分の思いに合うように紙をつなげていくことができる。

### 4 指導計画 (全2時間)

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
思いをもつ・見通す	<p>1 石や新聞紙を、並べたり、つなげたりしている様子から気付いたことを話し合う。</p> <p>【見るポイント】 ○形 ○大小 ○長短 ○直線、曲線</p> <p>2 学習のめあてを話し合う。</p> <p>ならべたり、つないだりして、たのしいかたちをつくろう。</p> <p>3 石や新聞紙などを、並べたり、つなげたりして遊ぶ。</p> <p>(1) いろいろなつなぎ方をする。</p> <p>セロハンテープの長さを考えながら貼らないと、しつかりとくつかないな。</p> <p>新聞紙を何枚もつなげていくと、本物の道路のようだな。</p> <p>友だちの作品と近づいてきたから、一緒につなげてみよう。</p> <p>(2) 友だちのつなぎ方を見る。</p> <p>友だちの道路に自分で歩かせてみると、道路が右に行ったり左に行ったりしておもしろいな。</p> <p>よし、上につなぐのを真似してみよう。このつなぎ方で、橋もできそうだぞ。</p> <p>4 友だちとお互いの表現のよさを振り返る。</p> <p>捨ててしまうものが、切ってつなぐことで、こんなに変身するんだな。おもしろいな。</p>	1 (本時 1 / 2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料のよさを感じさせるために(つながり)、今までの学習を振り返らせたり、実際にさわって質感等を感じさせたりする。</li> <li>○ 並べたり、切ってつなげたりすることに意欲的に取り組めるようにするために(参加)、教師が実際に並べてみせたり、手で切ってみせたりして、並び方や切れ方、つなげた形のおもしろさに気付かせる。</li> <li>○ 石や新聞紙などを、並べたり、つなげたりするよさに気付かせるために(多面、総合・見通す)、並んでいるものと並んでいないもの、つなげているものとつなげていないものを比較させ、「どちらが楽しい感じがするかな。」と問う。そして、「どうしてそう感じたかな。」と問い合わせ、気付いたことを見るポイントとして板書する。</li> <li>○ 学習のめあてへと焦点化させるために(見通す)、石や新聞紙などの材料を使ってどのような活動ができるか発表させる。</li> <li>○ セロハンテープの適切な使い方を身に付けさせるために(多面、総合)，セロハンテープのはり方が違う紙を比較し、目的に応じてセロハンテープの効果的な使い方に気付かせる。</li> <li>○ 並べ方や、つなぎ方を様々に試さるために(多面、総合)，材料や用具の置き場所を工夫し、いつでも材料や用具を選んで並べたり、つなげたりすることができるようにする。また、台や机などを準備し、上下左右等のつなぎ方のおもしろさに気付かせる。</li> <li>○ 材料の特性に気付かせるために(多面、総合)，教師も一緒に活動しながら、目的に合わせて材料を選んでいる子どもを称賛する。</li> <li>○ 様々な並べ方やつなぎ方のよさに気付き、自分の表現に生かせるようにするために(関連・協力)，友だちの製作途中の作品を見るポイントを基に鑑賞して、感じたことを伝え合う活動を設定する。</li> <li>○ 友だちの表現のよさを味わえるようにするために(協力・関連・コミュニケーション・見通す)，友だちと互いの並べ方やつなぎ方のよさについて話し合せ、自分の表現に生かせるようにする。</li> <li>○ 製作の過程を振り返り、自分の表現のよさを感じ取ることができるよう(つながり・コミュニケーション)，空き箱などを自分に見立て、見るポイントを基に感じたことを話させながら活動させる。</li> <li>○ 並べたり、つないだりして自分のイメージを表現してきたよさを感じさせるために(つながり・参加)，ビデオカメラで子どもたちがつくった作品を見るポイントを基に紹介させたり、最後まで粘り強く取り組んだことを称賛したりする。</li> </ul>
思いを表現する		1	
思いを味わう		1	

## 5 本 時 (1/2)

### (1) 目標

石や新聞紙などの身近な材料を、並べたり、切ってつなげたりして何かに見立てる活動を通して、身近な材料を並べたり、つないだりする楽しさに気付き、セロハンテープを適切に使って、切り方やつなぎ方を考えながら表現することができる。

### (2) 本時の展開に当たって

導入段階で、並べたり、切ってつなげたりすることによって感じられるおもしろさに気付かせるために（見通す）、石や新聞紙を単体と複数あるものを見比べさせることを通して、並べたり、つなげたりする活動に興味をもたせ、つくりながらつくりたいものを考えさせる。また、並べ方やつなぎ方を工夫させたり、友だちと交流しながら取り組ませたりして、つくりたいものを明らかにさせるために（多面、総合・関連）、材料を教室の様々な場所に置いたり、机や台など高低差のあるものを意図的に設置したりする。

### (3) 実際

過程	主な学習活動	時間 (分)	教師の具体的な働きかけ
思いをもつ・見通す	<p>1 石や新聞紙の並び方やつなぎ方について話し合う。</p> <p>【見るポイント】 ○形 ○大小 ○長短 ○直線、曲線</p> <p>2 学習のめあてについて話し合う。</p> <p>ならべたり、つないだりして、たのしいかたちをつくろう。</p> <p>3 石や新聞紙などをつないで遊ぶ。</p> <p>道路のようにまっすぐや、曲がり角になるようにつなげてみよう。</p> <p>【見るポイント】</p> <p>【他者との対話】 イスとイスの間をつなげると、トンネルや橋ができるよ。</p> <p>【自分との対話】 天井のひもまでつなげてみるとおもしろそう。</p> <p>【多面、総合】 いつも使っているイスを使うと、高くなげられるな。</p> <p>【関連】 高い所どうしをつなげて、橋にもできるぞ。</p> <p>【コミュニケーション】 友だちが、橋にするときは、しっかりとテープで止めたほうがいいと教えてくれたな。</p> <p>【見通す】 高い所にもつなげて橋をつくろう。</p> <p>【つなぎ方の工夫】 セロハンテープでしっかりとめて、イスを使って高い所に橋をつくってみよう。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料の操作性のよさなどを感じさせるために（つなぎ）、石や新聞紙などを使った学びや生活経験を振り返らせたり、実際にさわって質感等を感じさせたりする。</li> <li>○ 並べたり、つなげたりする活動に意欲的に取り組めるようにするために（参加）、単体と、複数に並べられたり、つなげられたりしている石や新聞紙を見比べさせ、「どちらが楽しい感じがするかな。」と問い合わせ、並べたり、つなげたりすることによって感じられるおもしろさに気付かせる。</li> <li>○ 並べたり、つないだりすると何か見立てて活動できるのではないかといった見通しをもたせるために（見通す）、「石や新聞紙などを使ってどんな活動ができるかな。」と問い合わせ、並べたり、つなげたりすることによって、自分の思いを表現できることに気付かせ、学習のめあてへと焦点化していく。</li> <li>○ つなぐ材料や目的によって、セロハンテapeの貼り方を使い分けることに気付かせるために（多面、総合）、セロハンテapeの貼り方の違う紙を比較し、セロハンテapeの貼り方による効果的な使い方について考えさせる。</li> <li>○ 上下左右につなげることや友だちとつなげることなど、工夫して並べたり、つなげたりさせるために（多面、総合）、材料や用具を教室の様々な場所に設置し、いつでも材料や用具を選んで活動させる。また、穴のある台や高さの異なる机などを準備し、上下左右等のつなぎ方を自然に取り組ませる。</li> <li>○ つくりたいものが思い付けるようにするために（参加・見通す）、活動が停滞している子どもには、友だちが工夫して表現しているところを紹介したり、教室内を高いところや低いところから見させたりして、新たな視点で活動できるようにする。</li> <li>○ 自分や、友だちの表現のよさを味わえるようにするために（協力・関連・コミュニケーション・見通す）、空き箱などで自分を見立てて遊ばせて、友だちと互いの並べ方やつなぎ方のよさについて話し合わせ、自分の表現に生かせるようにする。</li> <li>○ 本時で学んだことを実感させるために（つなぎ）、学習カードで振り返り、そのことを発表させ、工夫したところを称賛する</li> </ul>
思いを表現する	4 本時を振り返り、自分が工夫したこと発表する。	5	
思いを味わう			